

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 6 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

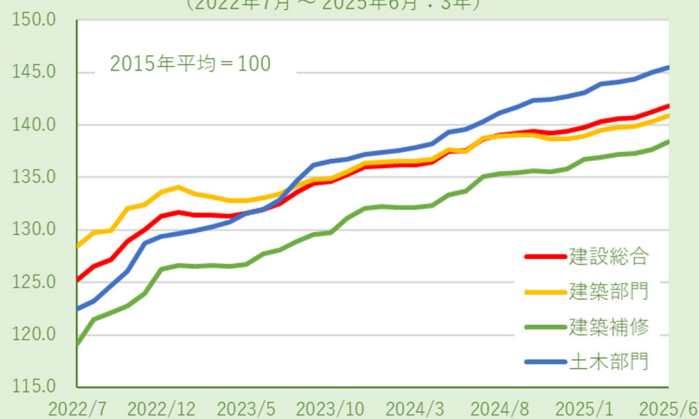
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 6 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均) が **141.8** となり、前月比+0.4%(+0.5 ポイント)と **7 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.1%(+4.2 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **140.9** となり、前月比+0.4%(+0.5 ポイント)と **7 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.4%(+3.4 ポイント)となった。**建築補修**は **138.4** となり、前月比+0.5%(+0.7 ポイント)と **7 カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.5%(+4.7 ポイント)となった。**土木部門**は **145.5** となり、前月比+0.3%(+0.5 ポイント)と **2020 年 6 月以降 61 カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.3%(+6.0 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年7月～2025年6月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【金属製品】建築用金属製品

製造・輸送コスト、管理費などの増加分を転嫁したメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

【窯業・土石製品】セメント

輸送コストや設備の維持修繕費の増加を背景としたメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【石油製品・舗装材料】燃料油

原油価格の下落ならびに定額引き下げ措置の補助金支給による大幅下落が、指数動向のマイナスに寄与

【鉄鋼】異形棒鋼・H形鋼

需要減少による販売店間の受注競争の継続に伴い市況が統落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記のプラス寄与要因のほか、世界的な銅相場の上伸から製品価格が値上がりした電線・ケーブル類（非鉄金属）や、人件費やエネルギーコストなどの増加を転嫁した値上げが浸透した空調設備機器などがプラスに寄与した。

都市別に見ると【札幌】（前月比+2.5%）では、セメントや骨材などの原材料費の上昇、輸送コスト、プラント維持費や人件費などの増加を背景に、販売協同組合が打ち出した生コンクリートの値上げを需要家であるゼネコンが受け入れたことで市場価格が上伸し、指数動向のプラスに大きく寄与した。

また、【名古屋】（前月比+0.4%）や【新潟】（前月比+0.4%）では、セメント価格の上伸が指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2025年6月分】

全国平均：141.8	新潟：138.3	札幌：145.0
前月比 +0.4%	前月比 +0.4%	前月比 +2.5%
前年同月比 +3.1%	前年同月比 +3.1%	前年同月比 +5.2%
広島：139.8	大阪：144.1	仙台：137.0
前月比 +0.3%	前月比 +0.2%	前月比 +0.2%
前年同月比 +3.2%	前年同月比 +2.2%	前年同月比 +3.1%
福岡：142.6		東京：142.2
前月比 +0.2%		前月比 +0.3%
前年同月比 +2.4%		前年同月比 +3.6%
那覇：139.8	高松：149.0	名古屋：142.0
前月比 +0.3%	前月比 +0.3%	前月比 +0.4%
前年同月比 +2.5%	前年同月比 +3.7%	前年同月比 +2.0%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp